

1. 中学校での社会科の目標（学習指導要領より）

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. どのような内容を学習するのでしょうか。

はじめは〈歴史〉を2年生に引き続き学習します。その後〈公民〉を新しく勉強します。

歴史	<ul style="list-style-type: none"> ○「二度の世界大戦と日本」 2度の世界大戦が起こった背景と、日本と世界を関連付け、わが国の転換期が迎えたことについて学習します。 ○「現代の日本と世界」 戦争終結後、急速に発展した日本の歩みを学習し、国際社会における日本の役割についての基礎を学習します。
----	--

公民	<ul style="list-style-type: none"> ○「現代社会と私たち」 地理・歴史を学習してきたうえで、現在の日本のあり方について学習します。 ○「個人の尊重と日本国憲法」 日本国憲法について学び、それに基づいて日本国民にあたえられている人権について学習します。 ○「現代の民主政治と社会」 わが国を動かす政治のあり方、国民と政治の関連について、司法、立法、行政を中心に学習します。 ○「私たちの暮らしと経済」 国民の生活を考え、身近にある経済活動から、国の経済活動についてまでの基礎を学習します。 ○「地球社会とわたしたち」 国際的な立場から、現在起きている国際問題について考え、日本のすべきかかわり方などについて考えます。
----	---

3. 評価の観点

社会的事象への知識・技能

社会の中で汎用的に使うことのできる知識を獲得して、社会的事象等について調べまとめる技能を身に付けているか。

社会的な思考・判断・表現

「社会的な見方・考え方」を働かせ、課題の解決に向けた考え表現できているか。

社会的事象についての主体的に学習に取り組む態度

知識・技能の獲得。思考力・判断力・表現力等を身に付けるための粘り強い取り組み、主体的に社会に関わり、課題を解決しようとしているか。

4. 評価の方法

○授業中の話し合い・発言・発表の様子を評価します。 ○ノートやプリントを評価します。

○定期テストの点数で評価します。

以上の内容を総合して観点ごとに総括を行い、5段階評定を出します。